南山大学アジア・太平洋研究センター、慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター 共催シンポジウム

胡錦濤政権期の「外交ドクトリン」

2012年2月16日(木)14時~17時

南山大学名古屋キャンパス J棟 1 階特別合同研究室(Pルーム)



報告1 中国におけるグローバル・ガバナンス論

兪 敏浩(名古屋商科大学コミュニケーション学部専任講師)

報告2 胡錦濤政権前期における「韜光養晦」をめぐる論争とその原点 一外交政策形成における学者の役割から

李 彦銘(慶應義塾大学法学研究科後期博士課程)





報告3 中国の国際的身分 ―「責任ある大国」から検証する

徐 顕芬(早稲田大学現代中国研究所客員専任講師、人間文化研究機構地域研究推進センター研究員)

報告4 中国における国益論争と核心的利益

前田 宏子(PHP総合研究所主任研究員)





司会 星野昌裕(南山大学総合政策学部准教授)

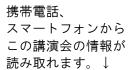
討論 須藤季夫(南山大学総合政策学部教授)

鈴木 隆(愛知県立大学外国語学部中国学科専任講師)

中国の台頭が語られるようになって久しい。さらに 2000 年代から世界的なパワー・シフトの時代を迎え、新大国、中国の動向は世界の注目の的となっている。

しかし中国外交の内実については、政策の多元化、利害関係者の多様化が指摘されており、その実態は益々つかみ難くなっている。

本シンポジウムでは、胡錦濤政権の外交方針に密接に関連する4つのキーワードを 事例に、中国政府が提起する「外交論」の形成過程と実質を明らかにし、中国外交 の指向性に具体的に迫る。





問い合わせ 南山大学アジア・太平洋研究センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地

Tel: 052-832-3111 (代表) Fax: 052-832-6825

E-mail: cfes-cfas-all@nanzan-u.ac.jp

慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

E-mail:cccskieas@info.keio.ac.jp

URL:http://cccs.kieas.keio.ac.jp/index.php